

2023 年度
京都精華大学大学院
芸術研究科 博士後期課程
入学試験問題

外国語

時間 13:00～14:00

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れないでください。触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
2. 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（小型のもの）とします。
辞書の使用が可能です。ただし電子辞書は除きます。
3. 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納すること。
4. 試験開始の合図により、試験を始めてください。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
6. 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置いてください。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立たないでください。
7. 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、持ち帰ってはいけません。

以下の文章は Jasper Morrison, *The Hard Life* (2017)所収にされた民具に関する一節です。冒頭の objects は農業などで伝統的に用いられてきた道具を指します。文章を読み、それに続く二つの設問に答えなさい。

Some of these objects caught the eye of Jasper Morrison* when he visited the museum in 2013. It is a look which slowly becomes noticeable amidst the quietness of the objects displayed and stored in the museum, and the very process of its selection has driven them to an all new level of visibility which brings them new meanings. It is an outsider's look, foreign to the people who collected the objects and to the museum showing them, one that invites us to look again or even to look for the first time at things we hadn't noticed. In Europe, in some of the great museums of ethnology which gathered their rural collections between the late nineteenth and mid-twentieth centuries and around which these institutions built their identity, the same objects are sometimes looked at as a kind of nuisance or even with some perplexity when trying to structure a new framework for them within the globalized time and place in which we are now.

* Jasper Morrison (1959～): ロンドン出身のプロダクトデザイナー

The hard life by Jasper Morrison. Reproduced with permission of Jasper Morrison Ltd., Zürich, Lars Mueller Publishers, 2017, p. 140.

[設問]

- (1) 下線部を中心に上記の文章を日本語で要約しなさい (字数制限なし)。
- (2) 後半では、民具を美術品のように展示することの問題点が指摘されています。では、美術品でないものを展示することの意義は何か。英語であなたの意見を述べなさい (字数制限なし)。